

2011年9月 日

大阪府知事  
橋下 徹 様

安威川の自然を守るネットワーク（代表：江菅洋一）  
茨木の治水を考える会（代表：野村東洋夫）  
安威川の治水を考える流域連絡会（代表：畑中孝雄）  
連絡先・〒567-0007  
茨木市南安威2丁目2-5-109  
携帯：090-5045-5133  
FAX：072-643-1533

## 安威川ダム再検証と流域の治水 についての要望書

安全と安心の街づくりに対する、知事の真摯な取組みに敬意を表します。

去る5月17日の大阪府河川整備委員会で、知事は安威川治水について、「正常流量確保の必要性及びその根拠についての検証が十分なのか。また不特定利水容量の妥当性に関し、東日本大震災でため池ダムが決壊したという事例もあることから、常時水を貯めておくことのリスクとメリットについて比較が十分にされているのか。この2点について、府民や地元の方々にも十分理解していただけるよう、改めて委員会にて検証・検討いただきたい」と要請され、その方向で今、議論が行われています。同時に私達は検証がすすめられている安威川治水計画に関して、河川整備委員会に於いて、広範な府民の思いに寄り添う視点に立脚した見識深い議論が行われ、大阪府の方針が決定するよう熱望しております。

そこで今回、大阪府河川整備委員会等について、以下の要望をいたします。真剣に、誠意を持って検討してくださることを希求します。

なお、本要望事項についてのご回答を、9月末日までに文書にてお願いいたします。

### 要望項目とその理由

#### 1、大阪府河川整備委員会の審議の進め方について

安威川治水計画を付議する場合、臨時委員として流域住民の代表と以下を専門とする学識経験者を加えること

○地質学分野、 ○地震学分野、 ○土木学分野、 ○耐震学分野

とくに安全・安心なダム建設が可能なのかを真摯に検証するために、地質・地盤や地震および土木、耐震に関する学識者を交えた検討がなされるべきと考えます。

#### 2、河川整備委員会の議事録調製について

河川整備委員会においては、現在、議事の概要が作成され公開されています。しかし、

議事録は作成されていません。それ故、今次の府河川整備委員会が安威川ダム建設の最終意思決定に強く関与することを考慮すると、議事の概要ではなく、安威川ダム建設事業の検証経過を記録した議事録の作成が必要であると考えます。

3. 氾濫解析（シミュレーション）の改善・充実と公表について、

大阪府が作成している安威川の氾濫解析は本川のみで、過去の災害履歴からして、主たる原因となっている支川や内水は対象にしていません。本川、支川、内水を含む氾濫解析を「地先の安全度」として、流域住民にわかりやすく公開すべきと考えます。

4. ダムに依存する治水対策から総合治水対策への転換について

日本の河川行政も地球温暖化に伴う気候変化等に起因する集中豪雨の多発による計画や施設規模を上回る洪水の発生に備え、河川の洪水を封じ込める河川対策だけでなく、流域対策に加え減災対策など総合的な治水対策推進の必要性があるとされています。安威川でも総合治水への転換が必要と考えます。

以上、よろしくお願いたします。